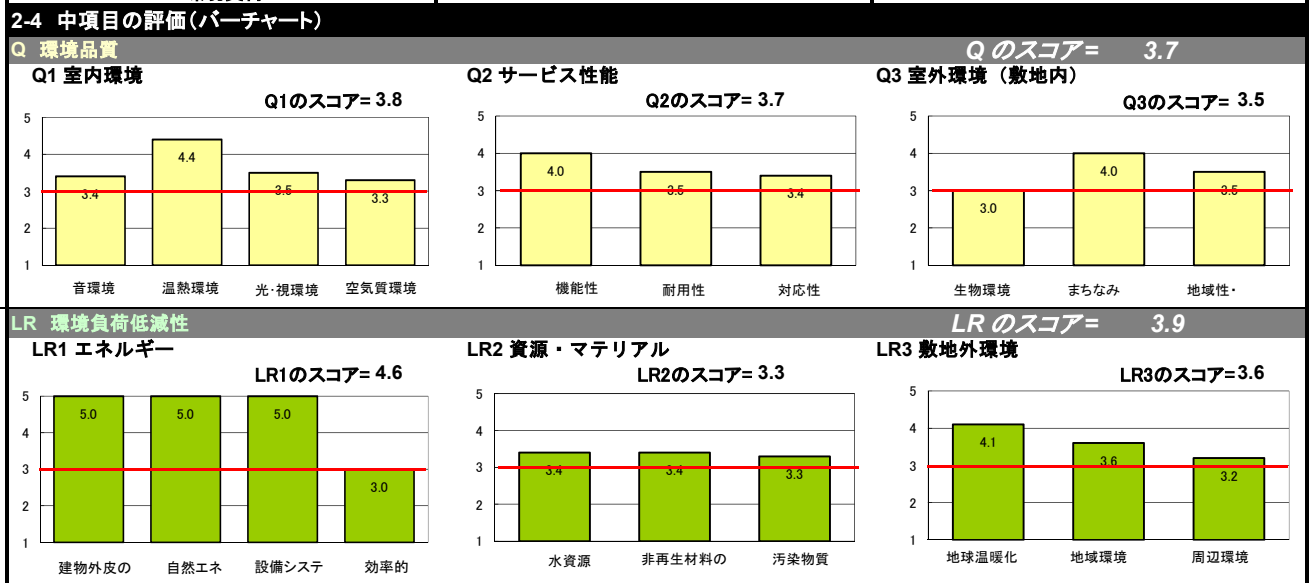
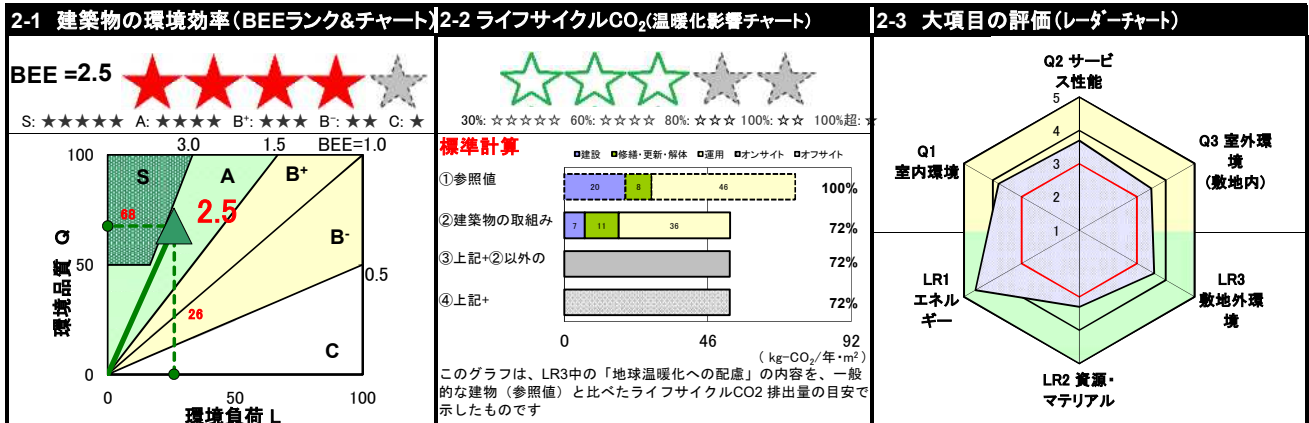


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名駅南口C棟マンション計画	階数	地上31階
建設地	神奈川県海老名市めぐみ町512-13	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,057 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2024年4月15日
敷地面積	3,684 m ²	作成者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	1,291 m ²	確認日	2024年4月15日
延床面積	28,594 m ²	確認者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 海老名を象徴する風景が残された階段形状の地形を活かし、新しい都市のイメージアビリティの創出により、景観に新たなアイデンティティの確立を図ります。		その他 特になし。
Q1 室内環境 断熱等性能等級5以上かつ、一次エネルギー消費量等級6を取得予定 F☆☆☆☆を70%以上使用。	Q2 サービス性能 免震装置導入	Q3 室外環境(敷地内) 水平に広がる緑の段丘に垂直に立上る軽やかな高層棟が立ち並ぶ風景を基本イメージとし、段丘都市としての新しい街の風景をつくります。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級5以上かつ、一次エネルギー消費量等級6を取得予定 床暖房敷設率60%以上を確保予定。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=1の発泡剤を使用	LR3 敷地外環境 建物利用者のために適切な量の自転車駐車場を確保 サービス車両等の駐車施設の確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される